

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34102	図書館サービス概論 Introduction to Library Services	江良 友子	専門	2	選択	1・2 前期

科目の概要

図書館サービスは、図書館の機能を具現化し、実践する活動である。生涯学習社会、高度情報化社会における図書館サービスはどうあるべきかを念頭に置きながら、その理念と歴史、理論と実際、現状と課題について学習する。

学修内容	到達目標
① 図書館サービスの意義について学習する ② 様々な図書館サービスについて学ぶ ③ 図書館サービスに伴う課題や問題点について学ぶ ④ 利用者に対する接遇・コミュニケーションについて学ぶ ⑤ 利用対象に応じたサービスの種類とその重要性について学ぶ	① 図書館サービスの意義を知り、理解することができる ② 図書館にはどのようなサービスがあるか、各種サービスを知り、理解することができる ③ 図書館サービスが直面している課題や問題点を知ることができる ④ 利用者に対する接遇やコミュニケーション技術を知ることができる ⑤ 利用対象別サービスの種類とその重要性を言うことができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	図書館サービスについて理解を深めるために、自ら進んで図書館へ足を運ぶことができる。
	働きかけ力	
	実行力	タイトな日程であっても、決められた期日までに手順や方法を考えてレポート作成ができる。
考え抜く力	課題発見力	自分の知識のみに捉われないこと、様々な情報を入手して、客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時、固定概念に捉われないこと、様々な方法から考えることができる。
チームで働く力	発信力	基本を踏まえたレポート作成ができている。
	傾聴力	授業及び、図書館見学先で説明を受ける際、メモを取るなどして真摯な態度で臨むことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	学生としてではなく、社会人として通用する言葉遣いと行動(授業中におしゃべりしない、遅刻しない、忘れ物をしない、提出物を期限内に提出する、授業中に携帯を触らない等)ができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト:「図書館情報学基礎資料」2016年 今まど子・小山憲司 編著、樹村房 1,080円
講義用レジュメおよび追加資料を配付する。
必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。
参考文献:授業の中で紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:図書館に関する科目全て

資格との関連:図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
図書館に関する各種報道に注意するとともに、図書館に関する様々な本や雑誌を読むこと。 実際に図書館をよく利用すること。 図書館に対する興味、関心を広げると授業が興味深くなる。	遅刻・欠席は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに、欠席分の配布資料を取りに来ること。 欠席した場合でも課題提出は必須です。必ず指定された期限までに提出すること。期日に遅れた場合は受け取らない。 授業の中で図書館見学(県立・専門)を予定しているが、交通費は自己負担とする。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	60	①	✓	レポート①: 専門図書館見学から学んだこと 1500 字以上 (30 点)
		②	✓	レポート②: 県立図書館見学から学んだこと(県立図書館の役割を中心に)
		③	✓	1500 字以上 (30 点)
		④	✓	評価のポイント
		⑤	✓	(表記・表現等) <ul style="list-style-type: none"> ・字数制限が正しく守られている。 ・口語やくだけた表現を使用せず、正しい文章表現を用いている。 ・「です・ます調」ではなく、「だ・である調」を用いている。 ・段落ははじめの1字下げなど、基本的なルールを守っている。 ・情報源は、信頼のおける適切なものを使用している(引用・参考文献)を記載できている。 (内容) <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに合致した内容となっている。 ・根拠をもとに、自分の考えを明確に述べることができている。 ・自分の述べたいことを、筋道立てて論理的に述べている。 ・意味の通らない文章がなく、論旨が明快である。 ・内容に説得力があり、読み手を納得させられる内容である。
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 言われなくても、授業準備をすることができる。
		②	✓	(実行力) 座学であっても、集中して粘り強く学ぶことができる。
		③	✓	(課題発見力) 課題に取り組むにあたり、何を調べ、どう取り組めばよいかについて考え、実行することができる。
		④	✓	(創造力) 様々な情報を調べ、総合して考えたことから回答を導き出すことができる。或いはレポート作成できる。
		⑤	✓	(発信力) 質問する内容を相手に合わせて言葉にできる。 (傾聴力) 相槌や共感等により、話し合い状況を作ることができる。 (規律性) 指定された期日までに遅れることなく提出物を出すことができる。 ※上記の7項目は、創造力を特に重視し、全体を通して総合的に評価する・・・10 点
その他	30	①		講義毎に全10回(予定)、様々な図書館を調べる課題を出します。
		②	✓	(3 点×10 回)
		③	✓	1 点→インターネット情報をそのまま記入
		④	✓	2 点→インターネット情報のみであるが、わかりやすく整理されている。
		⑤	✓	3 点→インターネット情報のみでなく、各種資料を使用して調べられている。
総合評価 割合	100			レポート、学修態度、その他(課題)の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<p>S(秀)評価 評価のポイントに基づいて2回のレポート評価の総計が 54 点以上である 学修態度の7項目全て達成できている。 その他(図書館サービスの特徴を調べる課題)の評価の総計が 27 点以上である。</p> <p>A(優)評価 評価のポイントに基づいて2回のレポート評価の総計が 48 点以上である。 学修態度の7項目が 6 項目以上達成できている。 その他(図書館サービスの特徴を調べる課題)の評価の総計が 24 点以上である。</p>	<p>B(良)評価 評価のポイントに基づいて2回のレポート評価の総計が 42 点以上である。 学修態度の7項目が 5 項目以上達成できている。 その他(図書館サービスの特徴を調べる課題)の評価の総計が 21 点以上である。</p> <p>C(可)評価 評価のポイントに基づいて2回のレポート評価の総計が 36 点以上である。 学修態度の7項目が 4 項目以上達成できている或は、達成までには至らないがよく努力している。 その他(図書館サービスの特徴を調べる課題)の評価の総計が 18 点以上である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	図書館サービスの意義と理念 図書館のサービスの意義・目的とそれを支える理念について学ぶ	講義 発表	これまで利用してきた学校図書館、公共図書館について、サービス内容や利用しやすさ、居心地などについてわかりやすく発表することができる 図書館のサービスの意義・目的とそれを支える理念を知ることができた	(予習) 自分がこれまで利用してきた学校図書館、公共図書館について、サービス内容や利用しやすさ、居心地などについて話せるようにしておく	60	主体性 傾聴力 規律性
2週 /	図書館サービスの要素と機能 図書館サービスを形作る要素とサービスの機能について学ぶ	講義 発表	図書館サービス内容について知り、各機能を理解する	(復習) 配布資料を読み返す。 (課題) 岐阜市立図書館サービスを調べる	180	規律性 傾聴力 創造力
3週 /	公共図書館サービスの歴史 日本における公共図書館サービスの変遷について学ぶ 「映像で見る戦後図書館のあゆみ」	講義 発表 ビデオ視聴	課題発表ができる 日本の公共図書館サービスの歴史を理解することができる	(復習) 配布資料を読み返す。 (課題) 名古屋市立図書館サービスを調べる	180	傾聴力 規律性 創造力
4週 /	資料提供サービス 1 資料提供サービス(閲覧・貸出・予約・リクエスト等)について学ぶ	講義 発表	課題発表ができる 閲覧・貸出・予約・リクエストについて、どのようなものか説明することができる。	(復習) 配布資料を読み返す (課題) 武雄市立図書館サービスを調べる	180	傾聴力 規律性 創造力
5週 /	資料提供サービス 2 資料提供サービス(レファレンスサービス、情報発信などについて学ぶ)について学ぶ	講義 発表	課題発表ができる レファレンスサービスにはどのようなものがあるか、説明することができる。	(復習) 配布資料を読み返す。 (課題) 国立国会図書館サービスを調べる	180	傾聴力 規律性 創造力
6週 /	情報提供サービス 3 図書館の使い方 自分が住んでいる自治体の図書館	大学図書館の使い方 方を学ぶ	課題発表ができる 大学図書館の使い方と、利用可能なデータベースを知る	(復習) 配布資料を読み返す。 (課題) 自分が住んでいる自治体の図書館について調べる	180	実行力 課題発 見力 発信力
7週 /	利用対象別のサービス 障がい者サービス、高齢者サービス、多文化サービスについて学ぶ 「新しい文化創造をめざして：望まれる多文化サービス」	講義 発表 DVD視聴	課題発表ができる 障がい者サービス、高齢者サービス、多文化サービスとはなにか、説明することができる	(復習) 配布資料を読み返す。 (課題) 武蔵野プレイス図書館サービスを調べる	180	傾聴力 規律性 創造力
8週 /	視覚障がい者サービス 視覚障がい者サービスの実際について	図書館見学	障害者資料の種類、障害者サービスについて理解する	(レポート作成) 専門図書館見学から学んだこと(詳細は授業の中で指示する)	180	主体性 実行力 課題発 見力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	課題解決支援サービス ビジネス支援、医療健康情報、法情報サービスなどについて学ぶ 「課題解決型サービス」	講義 発表 DVD視聴	課題発表ができる 代表的な課題解決サービスについて説明することができる	(復習) 配布資料を読み返す。 (課題) 東京都北区立中央図書館サービスを調べる	180	傾聴力 規律性 創造力
10週 /	図書館協力とネットワーク 図書館間、類縁機関、民間団体などとの協力・ネットワークについて学ぶ 「広がる図書館サービスと連携」	講義 発表 DVD視聴	課題発表ができる 図書館の連携先について知る	(復習) 配布資料を読み返す。 (課題) 現代マンガ図書館サービスを調べる	180	傾聴力 規律性 創造力
11週 /	図書館サービスの実際 公共図書館(県立図書館を予定)を見学し図書館サービスの実際を見る	図書館見学	県立図書館の役割を理解する	(レポート作成) 県立図書館見学から学んだこと(詳細は授業の中で指示する)	180	主体性 傾聴力 規律性
12週 /	図書館サービスと著作権 図書館サービスの中での著作権との関係について学ぶ 「未来から来た兄妹 ～なぜ大切な？著作権～」	講義 発表 DVD視聴	課題発表ができる 図書館が著作権を守る意義を理解できる	(復習) 配布資料を読み返す。 (課題) 矢祭もったいない図書館サービスを調べる	180	傾聴力 規律性 創造力
13週 /	図書館の集会文化活動 図書館の講演・講座、各種行事、展示などの集会文化活動について学ぶ	講義 発表 グループワーク	課題発表ができる 図書館で行われている講座にはどのようなものがあるか知ることができる	(復習) 配布資料を読み返す。 (課題) 北海道置戸町立図書館サービスを調べる	180	傾聴力 規律性 創造力
14週 /	利用者に対する接遇・コミュニケーション 利用者に対する接遇・コミュニケーションについて学ぶ	講義 発表 DVD視聴	課題発表ができる 利用者への接遇方法がわかる 図書館におけるコミュニケーションの意味を理解することができる	(復習) 配布資料を読み返す。 (課題) 多摩美術大学図書館サービスを調べる	180	傾聴力 規律性 創造力
15週 /	図書館サービスの測定と評価 図書館サービスの測定と評価の方法と考え方について学ぶ	講義 発表	課題発表ができる 図書館サービスの測定と評価の方法を理解する	(復習) これまで学んだ図書館サービスについて復習する	300	傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

